

# 小学校高学年～中学生を対象とした ハンギングバスケット

作成者：日本ハンギングバスケット協会 山口まり

- 対象者・人数：小学生高学年～中学生 10～40人
- 所要時間：2時間30分～3時間（実作業60分）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、  
アシスタント1名（生徒4～6名に付き）
- 実施場所：課外授業、イベント

## □ 資材：＜植え込み資材＞

- ・ハンギングバスケット
- ・土入れスコップ
- ・培養土
- ・肥料
- ・S字フック
- ・水苔、（ごろ土：使用しなくとも良い）
- ・割箸
- ・持ち帰り用袋

（ハンギングバスケット専用の箱もある@300円）



## □ 花材：



- ・ニチニチソウ 1株
- ・ランタナ 1株
- ・ツルニチニチ 1株



- ・ビオラ 1株
- ・スイートアリッサム 2株
- ・フィカスプラミラ 1株



ハンギングバスケット 例1  
ビオラ、アリッサム等



ハンギングバスケット 例2  
ビオラ、シロタエギク



ハンギングバスケット 例3  
ハボタン

## 【指導内容と目的】

- 植物を飾ることにより、美しく暮らしを彩り、潤いや安らぎを得るばかりでなく、他者とのコミュニケーションともなることを知る→年代を超えた地域での繋がり
- 数種類の花苗等を組み合わせることにより、植物をデザイン（レイアウト）しながら植え込む楽しさ、成長後の美しさを味わって行うことができる→将来への予想と期待
- 様々な植物に実際に触れることにより、植物を通じた楽しみ（遊ぶ・人との触れ合い・成長する喜び）・美しさ・植物の持つ機能を知り、植物の多様性・扱い方を知ることによって、身近な植物たちに興味を持ってもらいたい。
- 植物を一つの個性ある生命として実感してもらいたい。
  - ・植物の体のつくりと成長の仕方を実際に様々な植物と触れることにより実感する。
  - ・多様性を理解：植物の姿・形・質感、生命サイクルも様々であることを知る。
  - ・日々の観察により植物の変化を知り、水やり・肥料やり等の管理、置き場（良い環境づくり、良い環境に移動）等の日常のケアが重要である（植物にも心を配る、いたわることが大切）→植物を一つの生命として実感してもらいたい。
  - ・育てた花の最後（枯れる）まで面倒を見ることにより、次世代へ生命をつないでゆくことを知る（種子、球根、冬・夏の越し方等）

## 【対象者への配慮】

- ・自宅への持ち帰りを考えて、容器のサイズを選択。材質も壊れにくいもの。
- ・実際の作業時間は、1時間程度とする。
- ・説明は、ゆっくりと大きな声で、丁寧に、平易な言葉で行う。
- ・作業中は、「何故」この作業をするのかを説明しながら行う。
- ・植え付け後からの管理については、何故、必要なかを理解できるよう十分に口頭で説明し、管理説明のプリントを作成しておく。ハンギングバスケットは管理が重要。
- ・用意する花苗は、質感・葉型・葉色・花色等が異なるものが良い。  
→植物の姿の違い、デザイン、色彩を考えてもらうため。
- ・多少、乱暴に扱っても、根鉢が崩れたり、株元が折れたりしない花材を選ぶ。
- ・季節に合った種類を選ぶ。
- ・棘があったり、有毒なものを使用するときは、十分に注意することを伝える。
- ・途中で万が一枯れてしまっても、がっかりしないように手当てを考える。
- ・出来上がった作品について、できる限り個々にコメントする。けなさないこと。
- ・作業中は、全員に目配りし、全員に平等に触れ合うようにする。

## 【追記事項】

- ・小学校課程の植物に関する生活科・理科の学習内容を把握しておく。
- ・園芸の専門用語はなるべく使わない。使う場合は用語の説明する。
- ・成長の様子や花が咲いた喜び等、途中経過の便りがあると嬉しいことを伝える。
- ・植物のトリビアとなる話題を用意して、所々に盛り込む。花の形、虫との関係、現在話題になっていること、行事、学名・和名の由来、植物関連の絵本の読み聞かせ（高学年や中学生でも喜ぶ）等。
- ・花の名前・原産地等は、正確に伝えられること。
- ・より印象付けるため、最後に、植物名の記入や感想を書く用紙を用意する。  
→印象付けや自宅で家族と話題になったときのため。

## 1. 指導計画・スケジュール

	月	タイトル	使用器	備考
冬	1	・寒さに強い花たちのハンギングバスケット	スリット	パンジー、白妙菊、プリムラ類等
		・ツルでバスケットを自作して	手作り	落下防止の補強のため針金入れる
	2	・ハート型のハンギングバスケットを使って	市販	ワイヤーネット型を仕様
		・樹木の剪定枝を利用して	手作り	吊り下げ型が作りやすい
春	3	・多肉植物やサボテンでハンギングタブロー	手作り	個性的な姿形と管理が楽
		・ウォールポケット型にツル植物を誘引	市販	器にペイントし、ツル+花々を組合せ
	4	・春色のハンギングバスケットを作ろう	スリット	ペチュニア、ネメシア、ダイアンサス等
		・受け皿とワイヤーで鳥かご形容器作り	手作り	5号くらいの鉢皿が良い
	5	・秋まで楽しめる花を植え込む	スリット	インパチエンス・ペゴニア・トレニア等
・野菜のハンギングバスケット		市販	ミニトマト・パセリ・レタス等	
夏	6	・流木と麻紐とアルミワイヤーで土台作り	手作り	エアープランツを楽しむ
		・日陰で楽しめるハンギングバスケット	スリット	観葉植物+インパチエンス等
	7	・観葉植物でハンギングバスケットを作る	市販	観葉植物の様々な葉を組み合わせる
		・暑さに強いハンギングバスケット	市販	ポーチユラカ、ニチニチソウ等
8	・色鮮やかな葉を集めて	市販	コリウス、イボメア、ヒポエステス、クロトン等	
	・チキンワイヤーで包んだ水苔に観葉植物を挿し木	手作り	水切れさせないように管理	
秋	9	・三日月形の器を使って、お月見をイメージ	市販	クレセント型バスケットを使う
		・2ℓのペットボトルで、器を作る	手作り	スリット型の容器を作る
	10	・ザルや日用雑貨等を利用して器を作る	手作り	側面に穴を開けて植えつける
		・多肉植物を使って、吊り苔玉を作ろう	—	水管理が楽な上、オブジェ的感覚
11	・リース型のハンギングバスケット	市販	クリスマス・お正月飾りとして	
	・球根と草花を植えたハンギングバスケット	市販	ムスカリとビオラ等	
冬	12	・ハボタンを使って。行事のオーナメント	市販	冬を彩る
		・孟宗竹でウォールポットを手作りする	手作り	伝統植物等を植え、お正月用に

## ハンギングバスケット用容器

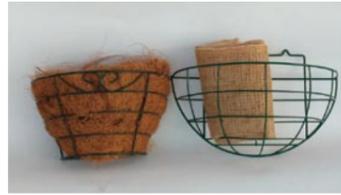
様々な形・大きさのものが市販、自作してハンギングバスケットの容器として利用されているが、予算や作成作品、時間により選択すると良い。大まかに分け、次のような種類があります。

- ・スリット型：植物の株元をスリットに通して植え込むことができ、大苗が使える。

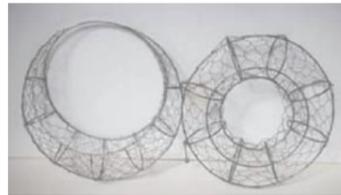


・ワイヤーネット型：水はけ・乾燥が激しいので、内側にビニールを敷く必要がある。

1.吊り型・壁掛け型があり、側面は、ワイヤーの間を通して植え付けるので、小さい苗を植え込むことになる。



2.リング型・ハート型・クレセント型等特殊な形があり、行事等に合わせて使う。



・手作り型：ツルや剪定枝等の自然素材を利用したり、ザルやバスケット等の日用雑貨を利用して、側面・天面の植え付けが可能のように加工・作成して使う。その際は、落下しないように、補強等の注意が必要。

2ℓのペットボトルに切り込みを入れスリット型の器を作成することができる。数個組み合わせることにより、作品の大きさが変えられる。参加者が1つずつ作成し、出来上がったものを全員でまとめて、一つの作品とするとイベント会場等の大きな装飾として利用できる。



## 2. 事前準備 (様々なシチュエーションが考えられるので臨機応変に対応する)

### 主催者または会場と打ち合わせ (開催場所の確認)

搬入：搬入経路、車の乗り入れの有無、事前受け入れ (宅急便等) の有無

日時：前準備+実際の授業時間+後片付けの時間を確認

場所：設備 (黒板・机・イス等)、床の養生、テーブルの養生、水場に関する確認

備品：清掃道具

ゴミ処理：ゴミ処理の方法の確認 (会場側、講師側)

### 花育内容の打合せ

主催者の意向を聞く (内容・予算)

制作する寄せ植えのテーマやコンセプトを決定

子供たちが個々で準備できるもの、学校・会場が準備できるもの等を打ち合わせる

(筆記用具、軍手持参、持ち帰り袋、ペットボトルで土入れスコップを製作する等)



500mlのペットボトルで作った土入れ

### 事前の準備

会場整備：ブルーシート、養生テープ、新聞紙 (机の上に敷く)、ゴミ袋、清掃道具、作業用大形レジ袋等 (レジ袋を広げ、この中で根崩し等の作業をする)

道具：ジョウロ、水差し、はさみ、バケツ、筆記用具、掲示用ハンギングバスケットスタンド、作業用ハンギングバスケットスタンド

資材：ハンギングバスケット、土入れスコップ、肥料、水苔、用土、割り箸、持ち帰り用袋、(ごろ土・使い捨て手袋)

\*ハンギングバスケットの持ち帰りは特に考慮が必要。

予算があるなら専用の箱がある (@300円)

(土入れスコップは、ペットボトルで予め作成してもらっても良い)

花苗：季節のもの・ケミカルコントロールされていないもの・株元の丈夫なもの・根が丈夫なもの

レジメ：白板等の有無によりレジメの内容を変える。(無い場合は、レジメに植物名・配置図・その後の管理方法等を詳しく記載) または、掲示用の大形図版等も作成しておくが良い。子供たち用レジメ、保護者用栽培管理説明書、記録用シート。

見本HBの作成：当日、制作予定の見本ハンギングバスケット(以下、HBという)を予め植え込んでおき、ある程度馴染ませる。HBの場合は、初めてではイメージがわきにくいので見本を用意しておく。バリエーションとして、数基のHBを作成し、展示しても良い。

### アシスタントとの打合せ

予め作成予定の寄せ植えのコンセプト、当日の流れ、注意事項を打ち合わせる。

### 3.当日の流れ

時間：2時間30分～3時間（搬入・準備：1時間→実作業：60分→片付け：30分）

実作業：説明と植え付け方の簡単な解説（15分）→植え付け作業（30分）→今後の管理方法の説明・片付け（15分）

\*イベント等の際のHBの作成は、講師と一緒に植え込んでゆくようにすると良い。

\*天植えのみの場合は、鉢植えのプロセス参考に。

#### ● 準備

\*主催者側担当者・講師・アシスタントが集合したところで、今日の進行・講習内容を再確認する。

#### ① 会場設営

床・机への汚れ対策（ブルーシートを敷く、テーブルに新聞紙等を敷く）、机の並べ変え（個々なのか、グループ4名ほどで作業をするのか考慮）、会場備品のチェック

#### ② 材料・備品の運び込み

#### ③ 資材配付

バスケット・土入れスコップ・割り箸・肥料・用土・水苔・大型レジ袋（この中で根くずし等の作業をさせる）



\*用土は、一人用に小分けするか、グループごとに1ヶ所に置くのか決める

\*水苔は、良く吸水させたのち一人分ずつ小分けする。

#### ④ 花材配付

配布時に苗のチェックを行い、質の悪いものははねておく。花色に違いがあるものは、配布方法を予め考えておく（じゃんけん、くじ引き等）。

\*十分な花材がある場合は、メインの花材のみ個々で選ばせても良いが、花選びには十分な時間(10～20分)を予定する。



#### ⑤ レジメ、記録シート、文具等を配布

記録シートは、植え付けが終わった後に、各自で記入し、植物や寄せ植え作業を印象ける。

イベント会場等の場合は、消しゴム付鉛筆を用意しておくが良い。

#### ⑥ 講師用の花・資材等準備

デモ用花苗はある程度の下処理しておく。

見本HBの展示（スタンドにかける）

レイアウト図等の掲示物があったら、黒板等に貼る。板書する。

#### ● 始める前に

#### ① 挨拶

自己紹介、アシスタントの紹介

#### ② 今日のテーマを話す

（目的、飾る場所を含め、HBのメリット・デメリットを伝える）

美しいハンギングバスケットの形も説明する

#### ③ 植物の名前と原産地、性質を説明

子供たちに問いかけたり、植物に触れながら（感触・香り）説明すると良い。

和名・流通名、学名：植物には色々な名前があることを知る。

原産地：世界中から日本にやってきていることを知る

生産地：ここまで成長させるためには、栽培農家が丹精を込めて育て上げていることを知ってもらう。子供と何らかの関係のある土地なら、親しみが湧く。

性質：1～2年草、多年草、伸び方や最終の大きさ、好きな場所等。

#### ④ 注意

植物は、有毒のものもあるので、口に入れたりせず、作業後は手を洗うことを説明する。

## ● 作業の実際

一緒に一行程ずつ進めてゆく。見本HBを使い植え付けの手順や植物の扱い方を説明する。(その際に、横に植えても植物は、上に向かって育つことを伝える。‘なぜ’この作業をするのか説明できることが重要)

## ① 下準備

- ・器の準備  
(時間があり、予算がない場合は2ℓのペットボトル等で器を作成しても良い。\*別紙参照)
- ・スポンジを貼る(下処理:ワイヤー式バスケットを使う場合は、麻布とビニールシート等を敷く)
- ・用土を入れる(土の大切さ、用土を入れる位置)、肥料を入れる(肥料の必要性の説明。一人分ずつ、小分けしておくが良い)

## ② レイアウト

植物の伸び方や置く場所を念頭に入れ配置をすることを説明(良く見えるように大形の配置図表を予め作っておくか、板書する)。実際にテーブルの上等で、植物を植え込むようにレイアウトする。

## ③ 花苗のチェック 植え込み前に花苗の枯れ葉、虫の有無等の確認

## ④ ポットからの抜き方説明 苗を優しく扱うこと(プラスチック鉢の苗があったらその扱い方)

## ⑤ 根鉢の処理 なぜ、根鉢を崩すのか、又は、少し根を傷つけるのか等を説明

## ⑥ 植え付け

植え付ける際の注意点を説明(用土の入れ具合、高さ、花の向き、植え付け角度)。植え付け時に全体の様子を離れてみることを伝える。一段ずつ植え込みながら、一緒に作業を進めてゆく(下段→土を入れる→中段→土を入れる→上段・天面→土を入れる)。水しろを取ると良い。植える場所により、植え付け角度の違いを理解させる。



## ⑦ 仕上げ

植え付け後は、土の亡失、土はねの防止、急激な乾きを軽減するために表面に水苔を敷く。



## ● 作業時諸注意

- 手袋をさせても良い。
- 全体に目配りし、戸惑っている子供のみ声をかけ、様子を聞く。
- 勝手に手を出して作業を手伝わないこと。
- 順調に進んでいる子供には、「よくできているね」と、誉める言葉を一言かける。

## ● できた人から

- 自分の周りを片付け、整理させる。
- 早く終わった子供たち、「記録シート」に配置図や植物名を記入する。
- ・花の名前を印象付ける
- ・今日の作業を印象付ける
- ・寄せ植えの出来ばえを親に報告する
- ・作った寄せ植えの思いを記録する

## ● 全員の作品が出来上がったら

- ・これからの管理の注意点を説明する。特に、HBのかけ方、水やり、花ガラ摘み等の通常の方法を丁寧に説明する。(子供用の簡単な管理のレジメ、または、保護者用のレジメを用意しても良い)(中には、途中で枯れてしまう苗もあるかもしれないことを伝える→ケア)
- ・何人かの子供たちに、今日の感想や自分の寄せ植えへの思いを発表してもらう。
- ・質問があったら受ける。
- ・水やりができるのなら、出来上がったハンギングバスケットに水やりをする。(水がなかなか浸み込まないことを、実感させる。用土を入れたペットボトルで観察)
- ・全員の作品をテーブルに並べ、それぞれの作品の鑑賞をする(製作者により、雰囲気等が異なった作品になるので、個性を見る)。
- ・生育途中の経過のお便り等も出すようにしても良い(主催者と相談)
- ・持ち帰りの準備をする。

## ● 終わりの挨拶、解散

## ① 最後に

- 時間があるようなら子供たちに手伝ってもらいながら、簡単に後片付けをする。残土・ビニールポットの処理の方法→持ち帰りor現場で処分、シートの撤去、床面・机面の掃除を行い、元の位置に戻す。資材等の撤去(スタッフ全員で)
- 主催者・講師・アシスタントで簡単な反省会を行っても良い。
- 主催者に、寄せ植えの今後のメンテナンス等のアドバイスしておいても良い。

## ② 終了 関係者・スタッフで挨拶、解散

## 4. 制作例

### ● ペットボトルで作るハンギングバスケット

2ℓのペットボトルでスリット型の容器を作成し、花苗を植えつける。器代がかからないため、安価(500円ほど)で作成できる。単品で飾るだけでなく、多数を組み合わせることにより、大きな壁面飾りとなり、イベント時の装飾、力を合わせての装飾として共同作業をしても良い。

### 材料

器作り：2ℓのペットボトル、幅3cmの透き間テープ(23cm×2本)、ハサミorカッター、物差し、マジックインキ、キリor目打ち

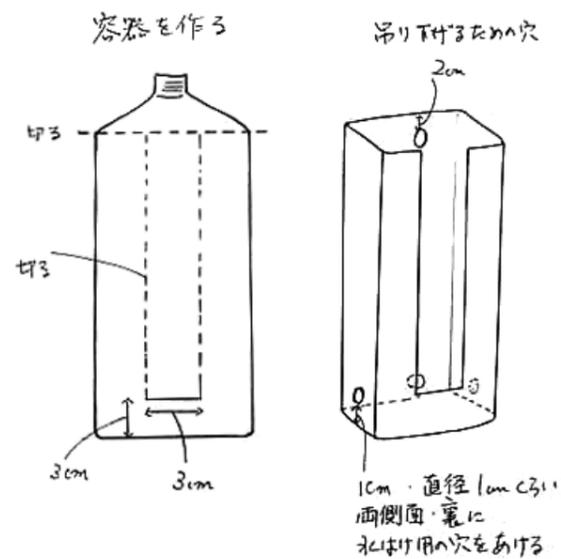
植え込み：花苗3株、培養土、肥料、S字フック、水苔、  
ごろ土：(使用しなくとも良い)



※花材例  
ニチニチソウ、ランタナ、  
ツルニチニチソウ 各1ポット

### 容器の作り方

- ① 切り取る場所をマジックで印をつける。
- ② 口の部分を切る。
- ③ スリット部分を切る(幅3cm)
- ④ 下部(底から1cm程上)の両サイドに水はけの穴を開ける。(直径1cmくらい) 最初、錐や目打ちで穴を開け、開いた穴に鋏の先をいれ穴を大きくすると良い。
- ⑤ スリット部分に透き間テープを貼る。切り口のぎりぎりまで、端を持ってくる。



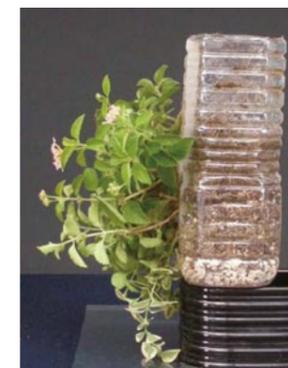
### 植え付け(1本のペットボトルに3株の花苗を植えつける)



① 切り込んだ位置まで用土を入れる。



② 花壇にツルニチニチを、透き間テープのスリットの間を通すように入れる。スリットの1/3の位置まで用土を入れる。



③ スリットの真ん中の位置に株元を通すように花苗を入れる。2/3の位置まで用土を入れる。



④ 容器の口のところに株元が来るように入れ、やや斜め上向きになるように植えつける。用土を隙間が無いようにしっかり入れ込む。

⑤ 表面に水苔を敷き、下部の水抜け穴から水が流れ出るまでしっかり水をやる。



+



=



※1本だけではなく、数本組み合わせて設置すると大形になる。

市販バスケットを使用した例  
 作成例：2000円程度（卸売価格）

● 伊藤商事製スリットバスケット SLT-250



A. 花いっぱい冬のハンギングバスケット（12月、1月、2月講習）  
 花材：ビオラ（冬期でも花が咲く品種）8ポット、  
 アイビー=2ポット



B. 長く楽しめるハンギングバスケット（4月、5月、6月）  
 花材：ペゴニア・センパフローレンス=9ポット、  
 オリヅルラン=1ポット



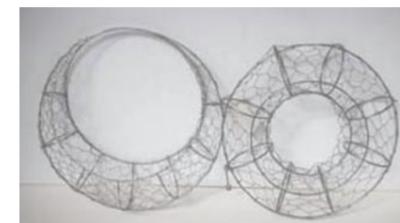
C. 太陽が大好きなお花たち（6月、7月、9月講習）  
 花材：ジニア・プロフェュージョン・シリーズ=8ポット、  
 シロタエギク=3ポット



D. 葉の美しい植物（観葉植物を使って、使う種類により通年可能）  
 花材：こんもりと茂る観葉植物（ミニ観葉）10ポット  
 コリウス、ポトス、オリヅルラン、ヒポエステス、  
 アスパラガス、アイビー、フィロデンドロン、  
 ツディシダ、シュガーバイン、ワイヤープランツ、  
 マコヤナ、ドラセナ類等



● 大同クラフト社製 ワイヤー型バスケット



A. リース型：クリスマス・お正月用  
 花材：ビオラ=5ポット  
 ミニハボタン=5ポット  
 アイビー=1ポット  
 ＊お正月やクリスマスオーナメントを作成  
 又は、用意しておいても良い



B. クレセント型  
 使う花材によりいつでも作成可能 花苗が少なくてもすむ  
 花材：ニチニチソウ=1ポット、ポーチュラカ=2ポット、  
 イポメア=1ポット



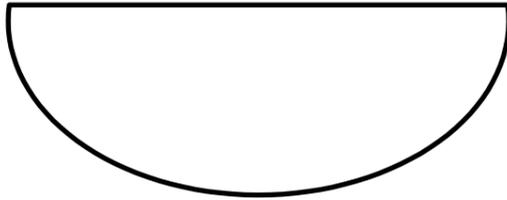
き ろく  
記録シート



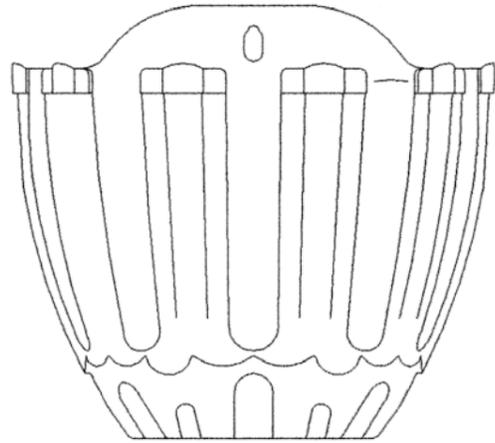
植物の配置を記録しておこう(5スリットバスケットタイプ)

名前 \_\_\_\_\_

天 面



側 面



植え込んだ植物の名前

---

---

---

---



受け付けのときの注意点や初めて経験したこと

---

---

---